

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		体育レクリエーション事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6151	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条				
	小項目	3	スポーツ・レクリエーションの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		体育・レクリエーション活動を通じて、住民のコミュニケーションを図るため、12公民館の各地区市民を対象として、体育祭や球技大会、レクリエーション講座を開催し、地域住民のコミュニケーションや、世代間のコミュニティの推進を図る。事業内容としてはソフトボール大会、野球大会、グラウンド・ゴルフ大会、体育祭、バレーボール大会、納涼祭、公民館まつり、少年・少女マラソン大会等を実施している。								
目的 ※何のために		体育・レクリエーション活動を通じて、住民の地域参加を図るため								
対象 ※誰・何を対象に		12公民館の各地区市民								
手段 ※どのように		体育祭や球技大会、レクリエーション講座を開催する。								
成果 ※何を求めるか		地域住民のコミュニケーションや、世代間のコミュニティの推進をはかる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業〔深谷公民館〕	37,154
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業〔藤沢公民館〕	82,600
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業〔幡羅公民館〕	123,850
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業〔明戸公民館〕	122,895
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業〔大寄公民館〕	567,220
本事業の 主な業務		・各公民館での体育祭の開催							・	
		・各公民館での球技大会の開催							・	
		・各公民館でのレクリエーション事業の開催							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催
事業費	予算(現額)	12,061,000	8,045,000	9,476,000	2,989,000	2,441,000	8,252,000
	決算額	10,677,497	7,222,183	8,062,812	1,148,736	1,410,697	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	19,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	10,677,497	7,222,183	8,062,812	1,148,736	1,391,697	8,252,000
人件費	従事職員数(人)	0.07	0.07	0.07	0.04	0.02	0.05
	人件費相当試算※	544,530	544,740	550,270	325,440	155,239	406,567
総事業費試算		11,222,027	7,766,923	8,613,082	1,474,176	1,565,936	8,658,567

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	体育レクリエーション事業開催日数（H 2 2 から設定）	目標値	日	168	168	168	168	168	168	
		実績値	135	128	98	8	69	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館平均年間 1 4 回の開催を目標とし、 1 6 8 回を目標値とする。						
	実績値の算出式									
活動指標 2	うち体育祭開催日数（H 2 2 から設定）	目標値	日	12	12	12	12	12	12	
		実績値	11	7	10	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年 1 回の開催を目標値とする。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	体育レクリエーション事業参加者延数（H 2 2 から設定）	目標値	人	87600	87600	87600	87600	87600	8760	
		実績値	56310	71285	44934	291	1401	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年間参加者数 7， 3 0 0 人とし、 8 7， 6 0 0 人を目標値とする。						
	実績値の算出式									
成果指標 2	うち体育祭参加者数（H 2 2 から設定）	目標値	人	36000	36000	36000	36000	36000	36000	
		実績値	30831	19872	26465	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年間参加者数 3， 0 0 0 人とし、 3 6， 0 0 0 人を目標値とする。						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	コロナ禍により、各館における体育レクリエーション事業は、大幅に縮小し、開催回数が低い状況であるが、感染症予防対策を徹底し、令和2年度より多くの事業を実施することができた。なお、地区体育祭は、地元関係団体等の意見を尊重し、すべての館で開催を中止したことから、令和3年度の実績値は0となっているが、すべての公民館で代替事業として「オータムウォーキング」を開催することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	体育レクリエーション事業参加者数は、活動指標と同様に実績値は低い状況であるが、令和2年度を上回ることができた。 なお、12地区の体育祭は中止のため、参加者数は0である。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	体育事業は、自治会やスポーツ等の団体やグループ参加が多いため、参加者の募集に当たっては電子申請は非効率となる。 また、レクリエーション事業は、参加者の多くが高齢者であるため、現状では電子申請は不要と判断する。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	体育レクリエーション事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6151
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		地区体育祭は各地域における大きな行事の一つであり、地域振興に資する取組みである。また、体育レクリエーション事業は市民の健康増進への関心が高まる中、ニーズに合致した重要な取り組みである。引き続き、感染症予防対策を徹底し各種事業が実施できるよう進める。特に、体育祭の開催については、関係団体の意見を尊重しつつ、中止する場合は代替え事業の開催も含め検討していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

